

保対策協議会で承認を得ることを決めた。看護職のキャリアラダーについて、問題点、改正点を協議した。

- ・ 会員異動(9月分) (津谷常任理事)
9月30日現在、広島県医師会会員は6,808名で先月より7名の増、日本医師会会員は5,498名で先月より3名の増であった。
会員からの入会(36件)・退会(27件)・異動(121件)の届け出があった
- ・ 感染症発生動向(9月解析分)(大本常任理事)

- 急増疾患 RSウイルス感染症 (0.31→0.75)
淋菌感染症 (0.48→1.17)
- 急減疾患 ヘルパンギーナ (1.00→0.50)

- ・ 10月4日、平成28年度第2回広島少年鑑別所視察委員会 (山崎常任理事)
所長から前回委員会以降の公的行事の報告があった後に、提案箱の提案の確認、少年1名、職員2名に面接を行った。面接内容は緊急な内容でないために、年度末に報告することとした。

医療時事ニュース (10月7日～10月18日)

- 膵がん早期発見「尾道」式 5年生存率全国の3倍 医療機関連携 10・8 読売
- コイV7元気になるね パネルなど20点 因島総合病院 10・8 中国
- 桧田仁氏が死去 元衆院議員 10・8 中国
- 注目発信 子どもの成長曲線に注目 広島県医師会 渡邊弘司 10・8 中国セレクト
- 専門医が診る 下垂体腺腫 読者からの質問編 県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科 富永篤主任部長 10・12 中国
- 地域発元気印! 診療ネットワークの構築を目指す 医療鼎談 てんかんを正しく理解し、暮らしやすい社会に 10・12 中国
- 「FMちゅーピー健康ばんざい」 広島女性クリニック 永井宣隆院長 10・13 中国セレクト
- 西城病院4年ぶり黒字 入院診療収入増が要因 15年度決算 10・14 中国
- 国際学会会議で被爆者が証言へ 放影研、米に派遣 10・14 中国
- 注目発信 がんの生存率の誤解 広島県医師会 津谷隆史 10・15 中国セレクト
- 「尾道方式」全国に広がり 膵臓がん早期発見に効果 JA尾道総合病院 花田敬士診療部長 10・16 読売

11月14日は世界糖尿病デー もっと知ろう糖尿病

11月14日～20日は全国糖尿病週間 広島県でも各地でイベントを実施します!

11月14日は国際連合が指定した「世界糖尿病デー」です。毎年、世界各国、全国各地の建造物が糖尿病啓発のシンボルカラーであるブルーにライトアップされ、各地で啓発イベント等が催されています。

広島県でも、広島市(広島駅北口、アーバンビューグランドタワー)、福山市(芦田川大橋)、三次市(十日市コミュニティーセンター)、尾道市(浄土寺、尾道市総合福祉センター)などにおいて、ブルーライトアップや市民啓発活動、血糖測定、健康相談など各種イベントを予定しております。

また今年度も、11月5日(土)13:00より広島電鉄本線(市内線、広島駅～西広島駅区間)における「路面電車内での糖尿病講座」を実施いたします。

本会HP「広島県医師会からのお知らせ」に世界糖尿病デー啓発ポスターやチラシのPDFデータを掲載しておりますので、この機会に先生方からも患者様へお声がけをいただき、糖尿病への注意喚起、意識啓発を行っていただきますようお願いいたします。

※ポスターは、本号の付録として送付しています。

問合せ先: 広島県医師会糖尿病対策推進会議(広島県医師会地域医療課、TEL: 082-568-1511)

